

婦人を対象としたスポーツに

関する調査研究 (第2報)

若山 博

I 緒 言

前回(昭和36年)、一般家庭婦人、金沢市婦人学級指導者を対象にスポーツの経験、関心、意欲、実態等の調査結果について報告したが、今回、一般家庭婦人を対象に同様の調査を行ない、両者を比較し、20年間の変化について考えてみた。

この間、我国においては、昭和39年に東京オリンピック、42年にユニバーシアード東京大会、47年には札幌オリンピック、各種国際競技大会、冠大会等が行なわれ、各競技団体の日本リーグ発足に伴う各地での転戦、国民体育大会の充実などを通じて、スポーツの普及が促進された。

また、従来男子スポーツとされていたサッカー、アイスホッケー、マラソンにも女性が進出し、形、稽古を主とした柔道においても勝敗を競う世界選手権が行なわれている。

年々平均寿命も伸びを示し、昭和56年簡易生命寿(厚生省)によれば、男子73.79才(世界1位)女子79.13才(世界2位)で、世界有数の長寿国としての地位が定着しつつある。来たるべき、高齢化社会の健康問題、自由時間の増大等に対しても、スポーツの果たす役割りが増すと考えられる。

II 調査方法 (人員、年令、学歴)

(1) 調査対象

56年調査の一般家庭婦人と36年調査の一般家庭婦人とを調査対象として比較検討した。

(2) 方法

質問紙により行なった(表1参照)。

(3) 調査期間

昭和56年調査は、昭和56年7月11日より8月31日迄の夏期休暇期間に帰省した金沢美術工芸

大学々生の協力によって、全国各地の帰省先に於いて、調査を行なった。又、昭和36年調査は、昭和36年、今回と同様に行なわれた。

(4) 調査人員

昭和56年一般家庭婦人 260名

昭和36年一般家庭婦人 446名

(5) 年令

昭和56年は、19才より75才迄で、平均年令は36.7才であり、昭和36年は、20才より59才迄で平均年令は37.4才であった。

(6) 学歴

最終学歴については、今回は、中学校(含旧高等小学校)13.6%、高等学校(含旧高等女学校)61.9%、専門学校5.8%、短期大学9.9%、大学9.1%のなり、前回は、旧高等小学校23.9%、旧高等女学校64.9%、専門学校7.6%、大学3.8%で、双方とも高等学校(旧高等女学校)が多数を占め、大学は短期大学を含めると今回大幅に増加している。

(7) 結婚

昭和56年一般家庭婦人

既婚 85.8% 未婚 14.2%

昭和36年一般家庭婦人

既婚 93% 未婚 7%

(8) 調査地人員及び分布

昭和56年度分

九州地区 10名 東海地区 47名

四国地区 10名 関東地区 10名

中国地区 10名 北陸地区 153名

近畿地区 20名 計 260名

(表1)

調査人員 昭和56年一般家庭婦人 260名—N1
昭和36年一般家庭婦人 416名—N2

問1 スポーツの経験について

A	行なっていた	N1	135	%	51.9	N2	255	%	57.2
---	--------	----	-----	---	------	----	-----	---	------

所属

イ	運動部に属していた	N1	96	%	71.1	N2	128	%	50.1
ロ	同好会に属していた	N1	17	12.6	N2	28	10.9		
ハ	地域社会のクラブに属していた	N1	12	8.9	N2	9	3.5		
ニ	協会等に属していた	N1	2	1.5	N2	4	1.6		
ホ	その他	N1	15	11.1	N2	1	0.4		
ヘ	無記入	N1	0	0	N2	85	33.5		

行なっていた種目

	N1	%	N2	%
陸上競技	7	5.2	24	9.4
水泳	5	3.7	19	7.5
バレーボール	48	35.6	84	33.1
バスケットボール	17	12.6	34	13.1
ハンドボール	1	0.7	1	0.4
バドミントン	12	8.6	4	1.6
卓球	13	9.6	49	19.2
テニス	23	17.0	38	14.9
山岳	2	1.5	3	1.2
ソフトボール	6	4.4	9	3.5
ダンス	5	3.7	4	1.6
体操	11	9.1	6	2.5
スキー	3	2.2	12	4.8
スケート	1	0.7	1	0.4

B	行なっていない	N1	125	%	48.0	N2	191	%	42.8
---	---------	----	-----	---	------	----	-----	---	------

行なわなかった理由

イ	好きでない	N1	34	%	27.2	N2	54	%	28.3
ロ	時間がない	N1	40	32.0	N2	42	22.0		
ハ	用具がない	N1	0	0	N2	7	3.7		
ニ	場所がない	N1	1	0.08	N2	4	2.1		
ホ	機会がない	N1	47	37.6	N2	57	29.9		
ヘ	疲労するから	N1	9	7.2	N2	18	9.4		
ト	身体が弱いから	N1	13	10.4	N2	26	13.6		
チ	その他	N1	1	0.08	N2	6	3.1		
リ	無記入	N1	0	0	N2	21	11.0		

	N1	%	N2	%
ホッケー			1	0.4
弓道	2	1.5	9	3.5
グライダー			1	0.4
剣道	2	1.5		
ボウリング	1	0.7		
トランポリン	1	0.7		
ドッチボール	1	0.7		
ヨーガ	1	0.7		
乗馬	1	0.7		
ゴルフ	1	0.7		
アメリカンフットボール	1	0.7		
無記入			40	15.7
合計		165	339	

問2 好きなスポーツについて
種目を3つ挙げてください。

	見る事が好きな種目				行なう事が好きな種目			
	N1	%	N2	%	N1	%	N2	%
陸上競技	10	3.8	41	9.2	5	1.9	31	6.9
水泳	25	9.6	122	27.3	34	13.1	77	17.3
バレーボール	162	62.3	63	14.2	96	36.9	135	30.3
バスケットボール	20	7.7	31	6.9	25	9.6	52	11.7
ハンドボール	1	0.4	5	1.1			4	0.9
バドミントン	7	2.7	11	2.5	50	19.2	91	22.0
卓球	12	4.6	40	8.9	57	21.9	149	33.4
テニス	70	26.9	49	11.0	73	28.1	74	16.6
野球	158	60.8	162	36.0	1	0.4		
相撲	17	6.5	118	26.4	1	0.4		
柔道	1	0.4	12	2.7			1	0.2
自転車			1	0.2	1	0.4	13	2.9
弓道			9	2.0	2	0.8	12	2.7
サッカー	9	3.5	9	2.0	1	0.4		
ボート			13	2.9			5	1.1
馬術	1	0.4	13	2.9	2	0.8	3	0.7
山岳			5	1.1	4	1.5	24	5.4
ソフトボール	4	1.5	7	1.6	33	12.7	21	4.7
フォークダンス	1	0.4	28	6.3			88	19.2
レスリング	5	1.9	41	9.2				
ラグビー	6	2.3	9	2.0				
ボクシング	2	0.8	23	5.2				
射撃			3	0.7				
体操	58	22.3	107	23.9	11	4.2	37	8.3
スキー	9	3.5	67	15.0	12	4.6	37	8.3
スケート	21	8.1	78	17.5	6	2.3	17	1.6
ホッケー			1	0.2				

	見る事が好きな種目				行なう事が好きな種目			
	N1	%	N2	%	N1	%	N2	%
ゴルフ	26	10.0			12	4.6	1	0.2
剣道			16	3.6				
ボウリング	3	1.2			10	3.8		
アイスホッケー	2	0.8						
アメリカンフットボール	1	0.4						
ジョギング	5	1.9			4	1.5		
トランポリン					2	0.8		
ゲートボール					2	0.8		
ヨーガ					2	0.8		
ジャズダンス					4	1.5		
なわとび					1	0.4		
ハイキング					1	0.4		

問3 婦人に一番適していると思われる
スポーツの種目名を書いてください。

	N1	%	N2	%
陸上競技			1	0.2
水泳	20	7.7	12	2.7
バレーボール	86	33.1	95	21.3
バスケットボール			4	0.9
バドミントン	21	8.1	63	14.2
卓球	11	4.2	56	12.6
テニス	57	21.9	39	8.8
馬術			1	0.2
ソフトボール	6	2.3	2	0.4
フォークダンス	3	1.2	67	15.0
体操	8	3.1	33	7.4
スキー	2	0.8	2	0.4
スケート	1	0.4	4	0.9

	N1	%	N2	%
ゴルフ	6	2.3	1	0.2
ジョッキング	6	2.3		
ヨーガ	4	1.5		
ボーリング	3	1.2		
ウェイトリフティング	1	0.4		
なわとび	1	0.4		
トランポリン	1	0.4		
山岳	1	0.4		
空手	1	0.4		
弓道	1	0.4		
無記入	20	7.7	66	14.8
合計	260		446	

問4 あなたは休日や余暇を利用して何か運動をやりたいと思いますか。

A	やりたい	N1	194	%	74.6	N2	321	%	72.0
B	やりたくない	N1	64	%	24.6	N2	109	%	24.4
C	無記入	N1	2	%	0.8	N2	16	%	3.6

希望種目

	N1	%	N2	%
体操	4	2.1	20	6.0
陸上競技			2	0.6
水泳	16	8.2	21	6.6
バレーボール	21	10.8	97	30.2
バスケットボール	2	1.0	3	0.9
バドミントン	18	9.3	100	31.2
卓球	20	10.3	109	34.0
テニス	67	34.5	59	18.4
サイクリング			15	4.7

	N1	%	N2	%
弓道	1	0.5	3	0.9
馬術			4	1.2
山岳	3	1.5	21	6.6
ソフトボール	7	3.6	11	3.4
フォークダンス			83	26.2
射撃			1	0.3
ダンス	3	1.5	6	1.9
スキー	1	0.5	13	4.5
スケート	1	0.5	11	3.4
ゴルフ	11	5.7	2	0.6
ハイキング			30	9.4
魚釣			4	1.2
ドライブ			4	1.2
ボーリング	1	0.5	1	0.3
旅行			2	0.6
キャンプ			2	0.6
ジャズダンス	1	0.5		
ジョッキング	3	1.5	1	0.3
民踊			5	1.5
ヨーガ	4	2.1		
ゲートボール	3	1.5		
剣道	3	1.5		
ウィンドサーフィン	1	0.5		
ヨット	1	0.5		
トランポリン	1	0.5		
無記入			30	9.4
合計	193		661	

問5 あなたは現在スポーツを行なっていますか。

		N1	%	N2	%
A	行なっている	62	23.8	46	10.6
B	行なっていない	197	75.8	393	87.8
C	無記入	1	0.4	5	1.6

行なっている種目名

	N1	%	N2	%
バドミントン	1	1.6	7	15.2
ハイキング			2	4.4
卓球	3	4.8	4	8.7
山岳	1	1.6	3	6.5
スキー	2	3.2	4	8.7
体操	9	14.4	8	17.4
テニス	12	19.4	5	10.8
バレーボール	15	24.2	12	25.2

III 問題提起

次の5項目について問題を提起し、回答を求め、その傾向を見て、さらに前回と今回の調査結果を比較検討した。

1. スポーツの経験
2. 好きなスポーツの種目
3. 婦人に適して居ると思うスポーツの種目
4. スポーツに対する意欲
5. 実施状況

IV 結果と考察

(1) スポーツの経験について (表2・3)

スポーツの経験については、円型グラフが示す通り、前回同様過半数を占めるに至ったが、その率は約52%と若干減少傾向にあった。所属については、運動部に所属して居たと答えたものがいずれも多くを示して居る。特に今回は全体の7割を占め、学生時代にスポーツを行なうには運動部が最も身近にあるようだ。行なっていた種目は、前回バレーボール、卓球が多く、今回はバレーボール、テニスが多い。特にバレーボールは両方とも圧倒的多数となって出

	N1	%	N2	%
水泳	3	4.8	2	4.4
ダンス			3	6.5
ソフトボール	1	1.6	1	2.2
フォークダンス			2	4.4
弓道	1	1.6	1	2.2
ゴルフ	5	8.1		
ヨーガ	2	3.2		
ジョギング	2	3.2		
スケート	1	1.6		
剣道	1	1.6		
バスケットボール	1	1.6		
トランポリン	1	1.6		
合計		61	54	

た。

行なっていない理由としては、前回と今回とでほとんど変化はなく、「機会がない」、「時間がない」、「好きでない」の三つが大半を占めた。その中で今回においては、「用具がない」、「場所がない」と答えたのは僅かに一人で、これは、用具体育施設等が充足された結果といえるだろう。

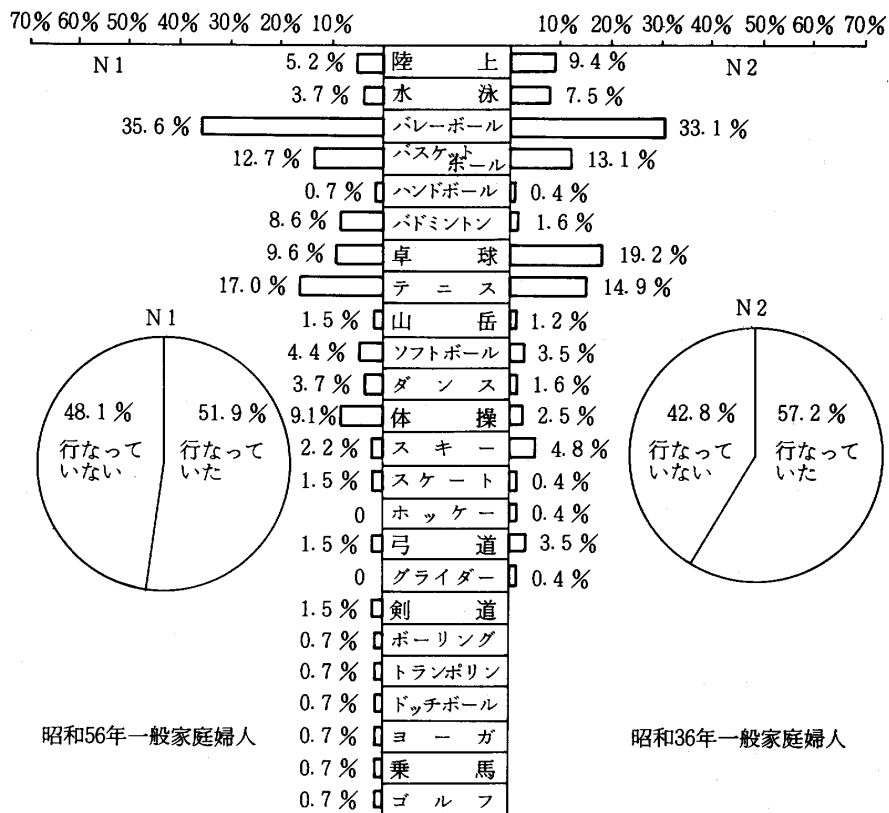
(2) 好きなスポーツについて、見る事が好きなスポーツ、行う事が好きなスポーツをそれぞれ3種目挙げる様に求めた(表4)。

1 見る事が好きなスポーツについて

今回の上位三種目はバレーボール、野球、テニスであり、前回の上位三種目は野球、水泳、相撲であった。これを見るとマスコミ報道の有無が大きく作用すると考えられる。特にバレーボールについては、学校体育によって婦人の多くが経験者であり、加えて国際競技大会においても上位を占めることが多く、その活躍がマスコミで報道されることが、その人気(前回の約4倍)の原因となっていると考えられる。また野球については、特に高校野球と答える人が目

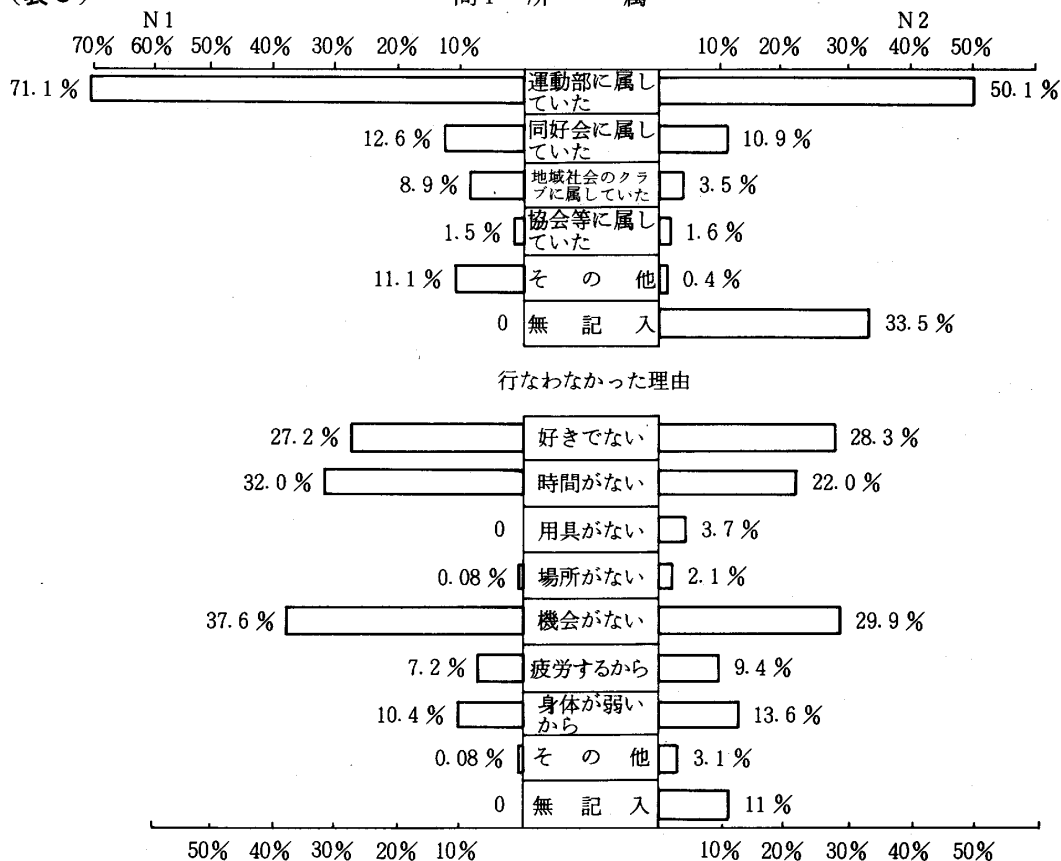
問1 行っていた種目

(表2)



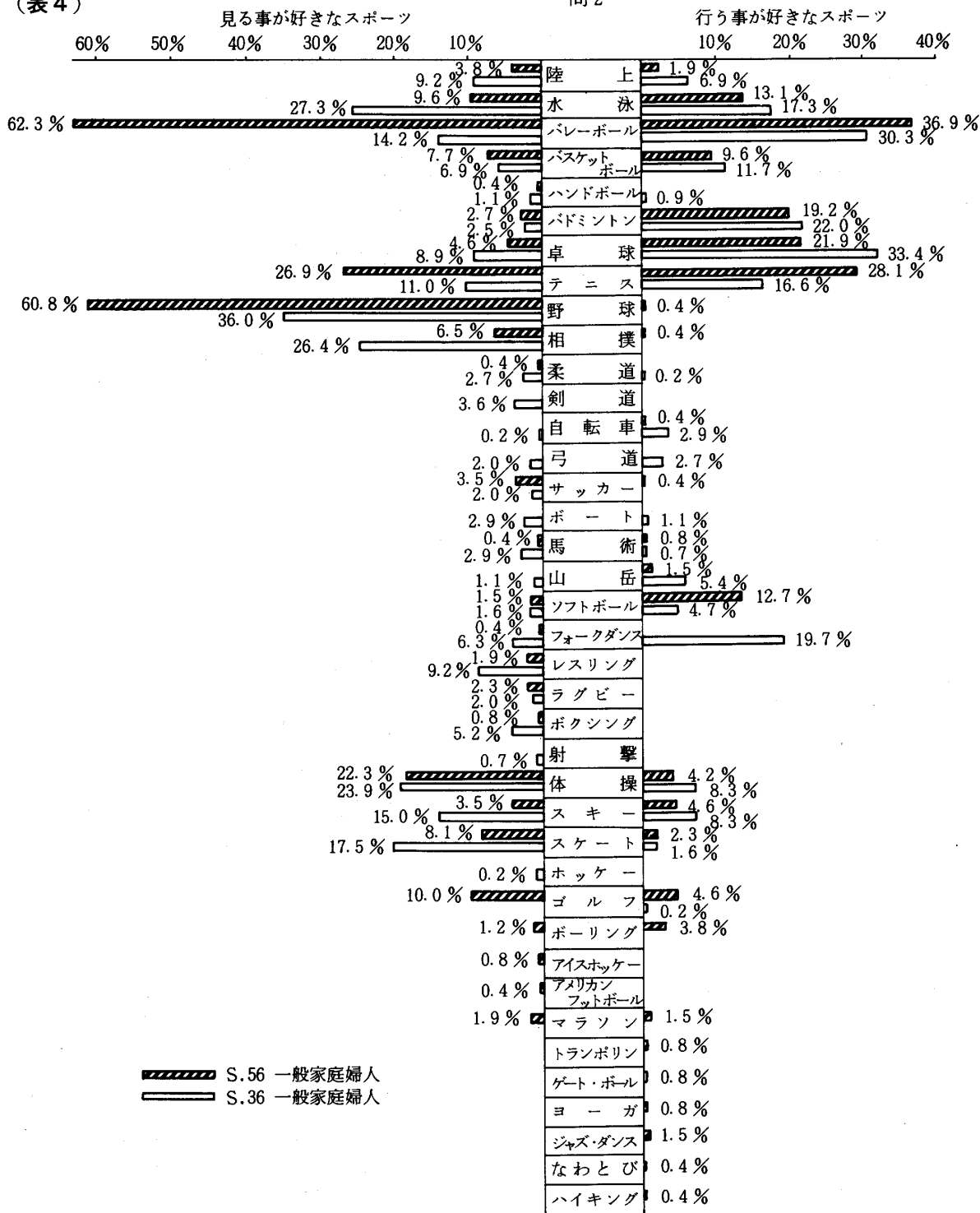
(表3)

問1 所属



(表4)

問2



立ったところに、見るスポーツとしての人気の浸透が窺える。

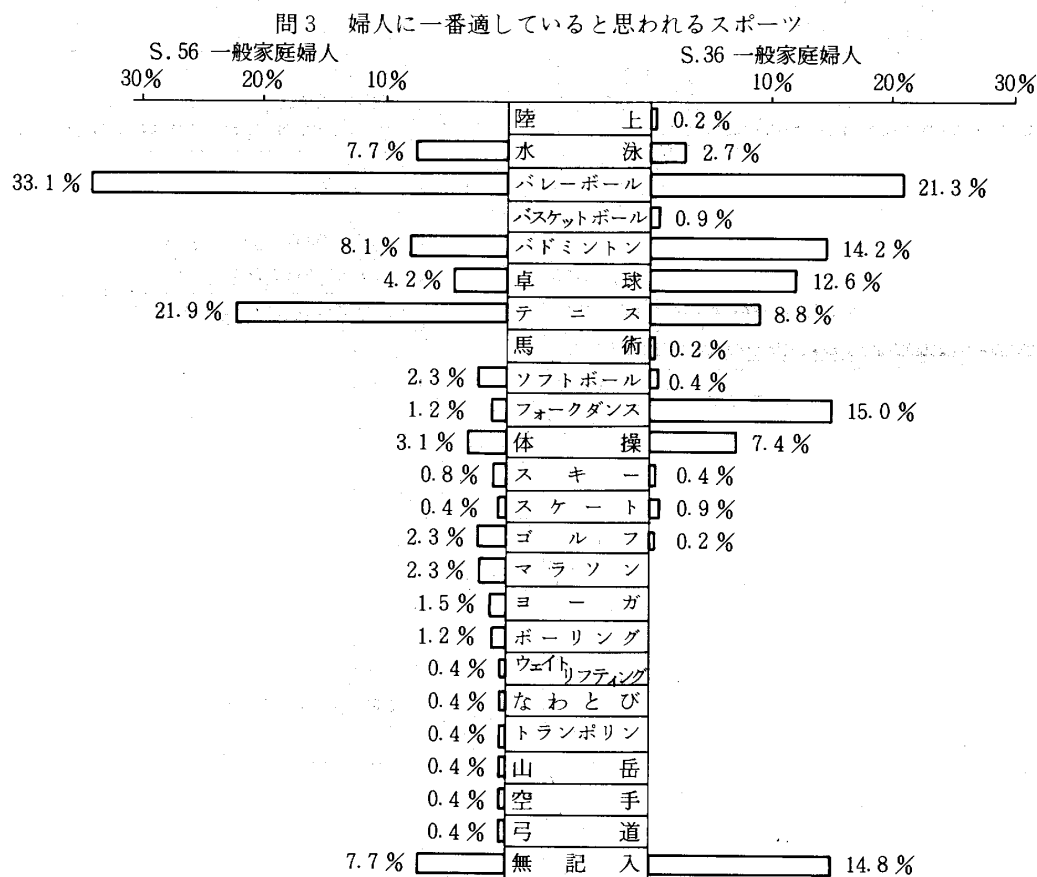
2. 行なう事が好きなスポーツについて

ここでも上位三種目を挙げてみると、今回は、バレーボール、テニス、卓球の順であり、前回は、卓球、バレーボール、バドミントンの順で

あった。これらのスポーツは、すべてネットを使用し、ルールが簡単でよく似ており、婦人が好んで行うスポーツの方向を表わしていると思われる。

(3) 婦人に一番適していると思われるスポーツの種目について (表5)

(表5)



今回はバレーボール、テニスが多く、前回はバレーボール、フォークダンス、バドミントン、卓球が多くを占めた。前回では多種目に散らばっていたものが、今回はバレーボール、テニスに集中する結果となった。

(4) あなたは、休日や余暇を利用して何か運動をやりたいと思いますか(表6)。

今回、前回とも70%を越え、多くの人が何らかの運動を希望することがわかる。又、やりたいと回答した人にその希望種目の記述を求めた。

今回においては、テニスが他種目を圧倒している。前回においては、種目を2つ求めているので、その数を半分として考えてみると、多い種目で15%前後であり、テニスに今回集中したことがわかる。今後、益々テニスが広く一般に普及すると思われる。

(5) あなたは現在スポーツを行なっていますか
両方の調査とも大半の人が行なっていないと回答した。しかしながら、今回行なっていると

答えた人は23.8%と、前回10.6%と比べて少ないながらも倍増である。その行なっている種目については、今回、前回ともバレーボールが1位を占め、続いて今回は前回の体操に変わってテニスが続いた。当然ではあるが、婦人が適するスポーツを選んで行なっている結果となっている。

(6) 前述1、4、5の関連について(表8)

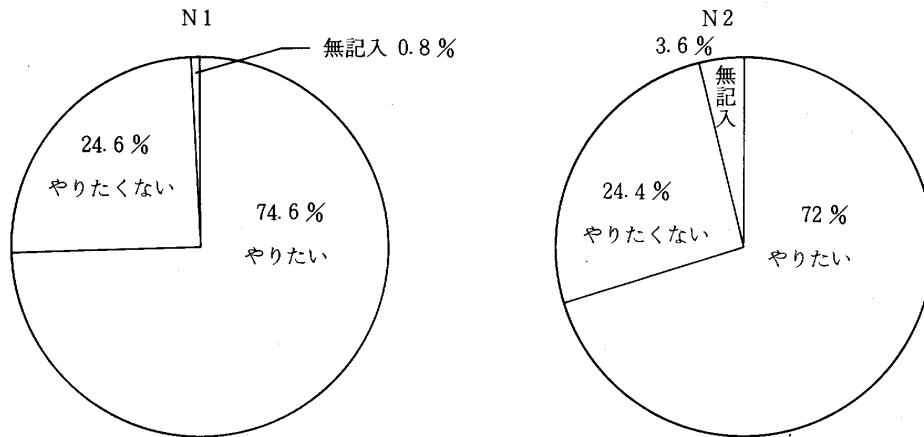
今回も前回も表の示す様相は変わらず、多くの人が「行ないたい」と考えているのに対して実際は少数の人しか行なっていない。過去において「行なっていた」と答えた人はそのほとんどが、学生時代の運動部活動であり、卒業するとその半数以上がスポーツをやめてしまうようである。

V 総括

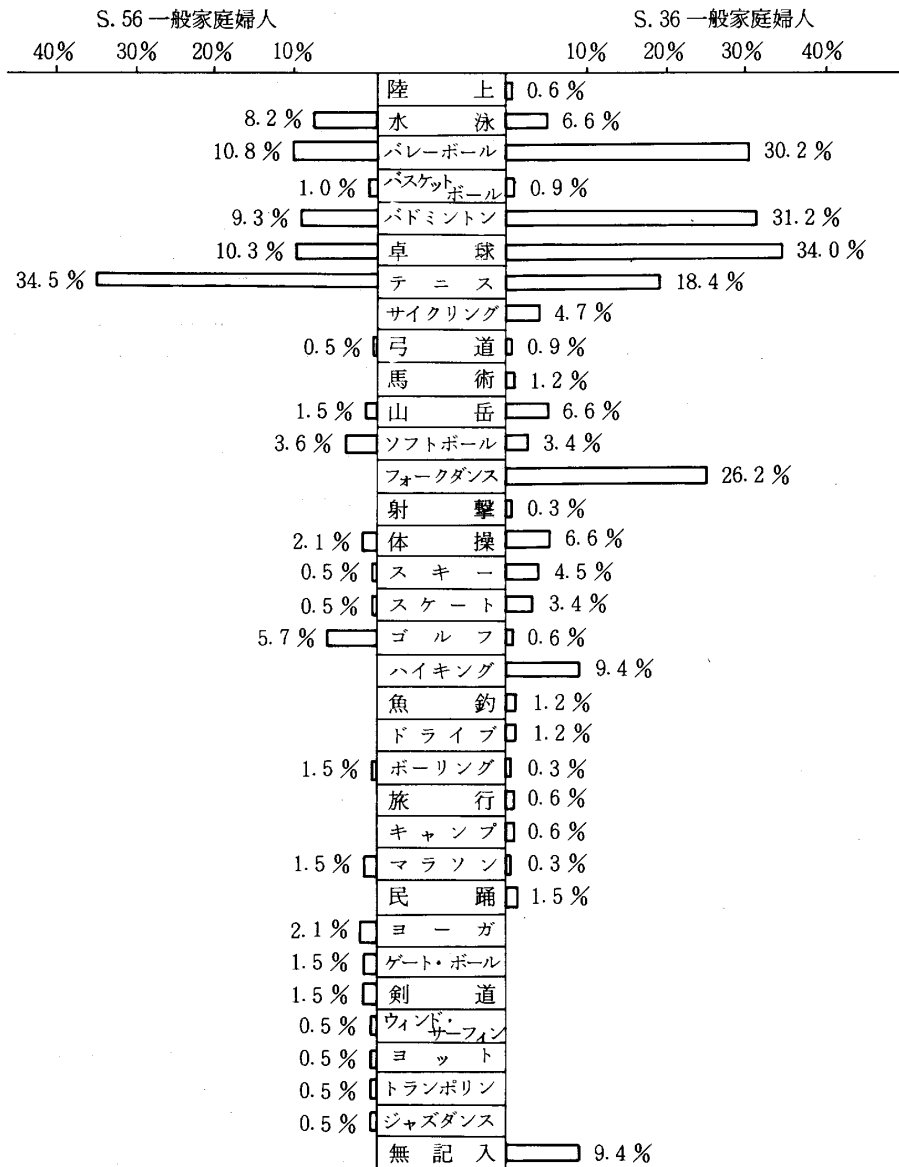
各項に表われた種目について見ると、全般的な傾向として、前回においてはバレーボール、

(表 6)

問 4 休日や余暇を利用して何か運動をやりたいと思いますか

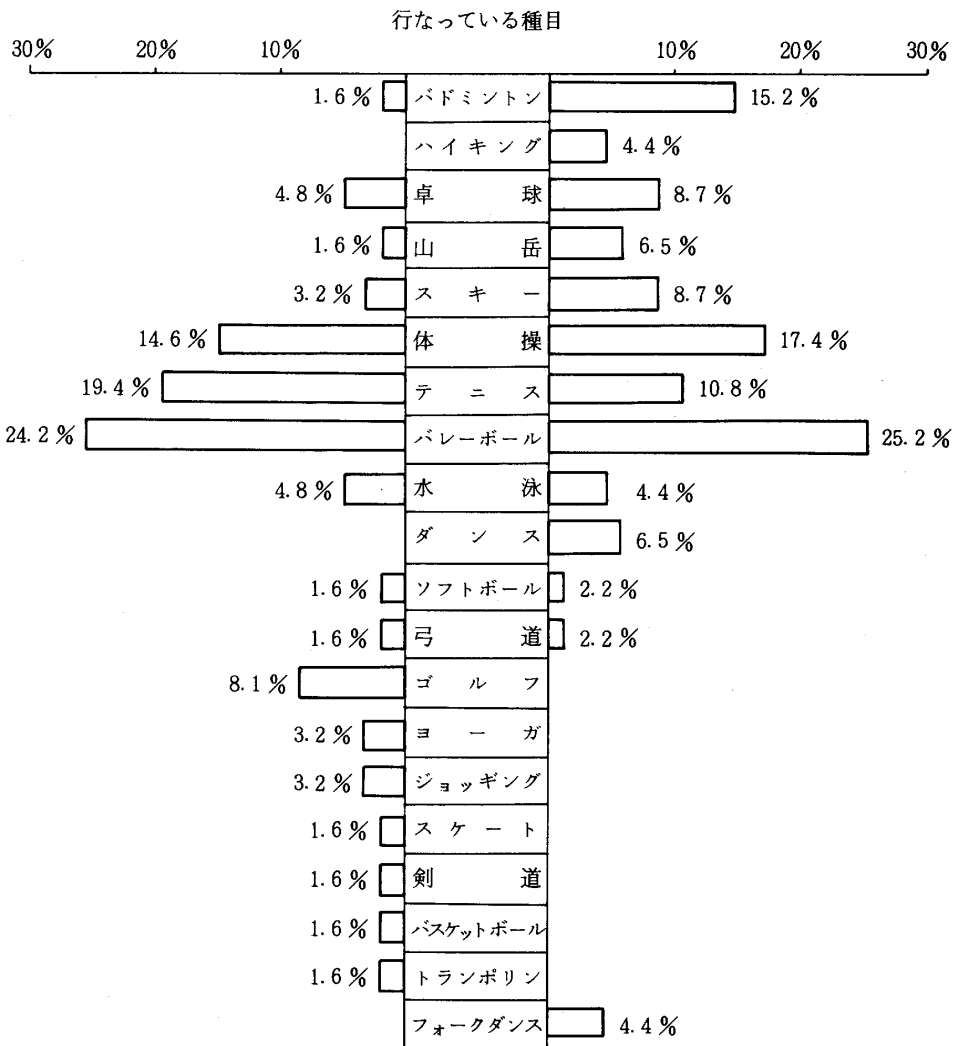
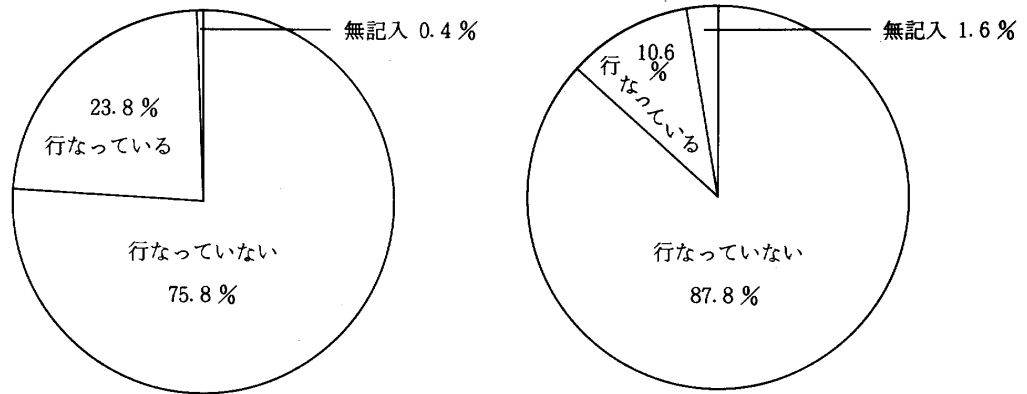


行いたい希望種目



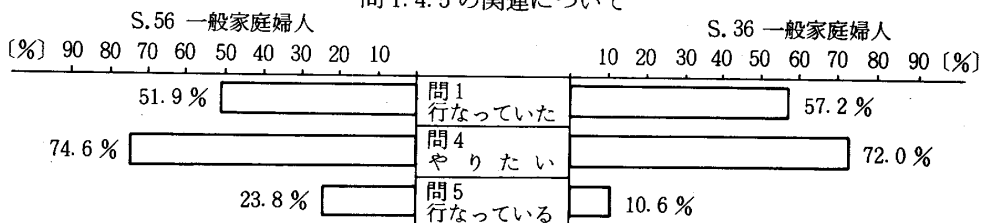
問5 現在スポーツを行なっていますか

(表7)



(表8)

問1.4.5の関連について



フォークダンス、卓球、バドミントンが、上位を占めたが、今回においては、バレーボール、テニスが安定して上位を占めている。これ等はいわゆる軽スポーツ的な種目で、婦人層が日常生活に比較的取り入れ易いこれ等の種目を愛好すると云う事は、20年前も現在も変化はない。しかし、その種目について見ると、卓球、バドミントンは若干の減少であるが、フォークダンスは大幅減少、或いは0となっている。変わってテニスは、近年のテニスブームにより、大きく増加している。テニスとバレーボールで各項目とも全体の半数前後を占めた。全項目を通じ、回答された種目数は今回が前回は上回っているが、その人数は少なく、広く婦人層に受け入れられる状態には至っておらず、バレーボール、テニスに集中するという結果がでた。ここ暫くはバレーボール、テニスの優位は変化ないものと考えられる。

また意識に関する調査結果は前回とほとんど変化はなく、経験者は未経験者よりも運動に対する意欲をもち、実施している者が多いと云う結果であった。学生時代における運動部活動と地域社会におけるクラブ活動の参加を積極的に行なうことが婦人体育発展への要因と考えられる。

(参考文献)

1. 体育学研究法 日本体育学会編
2. 大学体育十年誌 大学体育協議会編
3. 体育学研究(第五巻第1号)日本体育学会
4. 金沢美術工芸大学学報第6号
「婦人を対象としたスポーツに関する調査研究」
若山 博
5. 体育の科学(1981. 1)女性とスポーツ 日本体育学会編